

## 2023年度 室戸ユネスコ世界ジオパーク 学術研究助成金 募集要項

室戸ジオパーク推進協議会（以下「推進協議会」）は、室戸ユネスコ世界ジオパーク（以下「室戸ジオパーク」）を対象とした多様な学術調査・研究の推進およびその成果を地域に還元するため、以下のような研究課題に取り組む者に研究費の助成を行う。

### 1. 助成対象

室戸ジオパークで実施する研究課題とする。自然科学、人文科学、社会科学、教育学や、自然・文化遺産の保護に関わる研究など、あらゆる研究分野を助成対象とする。

### 2. 助成対象者

- (1) 助成対象者の年齢、職業、所属は問わない。個人、団体のいずれでも応募は可能である。ただし以下の(2)、(3)のいずれも遂行できる者に限る。
- (2) 2024年3月\*に推進協議会が開催予定の市民向けの成果発表会(サイエンスカフェ)で講演を行い、同年3月中に実績報告書および決算書を提出すること。
- (3) 2025年3月\*までに、研究成果を学会発表・論文のいずれかの形で公表すること。
- (4) 今年度は3件の研究課題に対して助成する予定である。このうち1件を学生優先枠とし、大学院博士課程までの学生が筆頭応募者の研究課題を優先的に採択する。学生優先枠は指導教員へ相談の上、教員の署名・押印を必要とする。

\*4. 助成期間の項を参照。ここでの記載は助成期間が「2024年3月」までの場合。

### 3. 助成金額

助成金額は研究課題1件あたり25万円を上限とする。

助成対象経費は、助成対象者の住所または所属先所在地から室戸市内の調査研究地までの旅費(宿泊費も含む)、研究の遂行・研究成果のとりまとめに必要な消耗品・事務経費とする\*。

\*別紙「室戸ジオパーク研究助成金 取扱要領」を参照。取扱要領に記載のない特別な事情による経費がある場合は、事務局に事前に相談すること。また、室戸市との往来および現地調査の際には、室戸市の新型コロナウイルス感染症対応方針にしたがって行動すること（最新の情報は推進協議会事務局に問合わせること）。

#### 4. 助成期間

研究助成期間を「2024年3月まで」・「2025年3月まで」のいずれかで選択する。

応募後の変更はできない。助成金額はいずれも上限25万とする。

「2025年3月まで」を選択したものについては、2024年3月中に推進協議会へ経過報告を行ったうえ、2025年3月開催予定のサイエンスカフェで成果を報告し、同年3月中に実績報告書および決算書を提出する。また2026年3月までに研究成果を学会発表・論文のいずれかの形で公表することとする。

助成期間とスケジュール	経過報告	サイエンスカフェ (市民向け成果発表会)	実績報告書 ・決算書	学会発表もしくは 論文として公表
「2024年3月まで」を選択	必要なし	2024年3月予定	2024年3月末	2025年3月末まで
「2025年3月まで」を選択	2024年3月	2025年3月予定	2025年3月末	2026年3月末まで

#### 5. 応募方法

応募書類を封筒に入れ、応募締切までに推進協議会事務局あてに郵送すること。

##### 応募書類

- ・ 室戸ジオパーク学術研究計画書
- ・ 助成金収支予算書

応募締切：2023年5月9日必着

##### 応募書類の送付先

〒781-7101 高知県 室戸市 室戸岬町 1810-2  
室戸ジオパーク推進協議会事務局

応募書類は室戸ジオパークのホームページ

([https://www.muroto-geo.jp/edu\\_information/2023muroto-researchgrant/](https://www.muroto-geo.jp/edu_information/2023muroto-researchgrant/))からダウン

ロードした書式をもとに作成すること。

応募書類を入れた封筒には「学術研究助成応募書類在中」と朱書きすること。

## 6. 応募された研究課題の審査

提出された応募書類は推進協議会の学術顧問、専門員および専門アドバイザーによって審査される。応募書類は以下の評価項目ごとに採点される。

- ・ テーマ、着眼点の良否
- ・ 研究計画の妥当性
- ・ ジオパークへの貢献度

採点結果に応募者の実績および成果公開の方法などを加味し、推進協議会総会の承認を経て、採択する研究課題を決定する。

なお上記の審査で同等の評価だった場合、女性が筆頭応募者の研究課題を優先的に採択する。

## 7. 助成金の交付

助成対象者には2023年6月10日までにメールで通知する。その際、口座振込依頼書を添付するので、助成対象者は銀行口座番号・名義を記入して返信すること。振込書の記入および返送がスムーズになされた場合、郵送による通知および、助成金の振込を7月1日までに行う。

## 8. その他

- (1) 昨年度の本助成の受給者は、今年度の本助成には筆頭応募者として応募できない。
- (2) 過去の本助成事業で不採択となった研究課題も再度応募可能である。また過去に採択された研究課題をそのまま継続するものは認められない。
- (3) 助成対象者の氏名、研究テーマ、実績報告書は室戸ジオパークのホームページなどで公開される。
- (4) 本助成を受けた研究成果を学会や学術誌などで公表する際は、研究の一部に本助成金を使用した旨を明記すること。また公表した場合は推進協議会に報告すること。
- (5) 論文別刷りなどの研究成果物は推進協議会に提出すること。

**問合わせ先**

室戸ジオパーク推進協議会事務局

〒781-7101 室戸市室戸岬町 1810-2 室戸世界ジオパークセンター

担当者：中村昭史 柿崎喜宏

TEL: 0887-22-5161 E-mail: info@muroto-geo.jp

**【参考】過去2年間に本助成に採択された研究****2021年度**

- ・植木岳雪（帝京科学大）  
研究課題：室津川上流における山地の解体過程：山麓の崩壊堆積物の年代に基づいて  
助成額：250,000円
- ・竹中將起（筑波大）  
研究課題：急峻な山岳地形を有する室戸半島の河川における水生昆虫の流程分布  
助成額：250,000円
- ・八巻 葉・村中亮夫・矢野桂司（立命館大）  
研究課題：高等学校「地理総合」における防災教育教材の開発と実践－高知県  
室戸市吉良川町の海岸段丘とその周辺地域を題材として－  
助成額：249,870円

**2022年度**

- ・饗場空璃（佐喜浜「海来」所属研究者）  
研究課題：室戸半島沖における高知県初記録種の究明  
助成額：249,760円
- ・北沢美帆・サルベル サフィエ エスラ・堀部和也（大阪大）  
研究課題：室戸半島の二地点における石灰藻の分布調査及び形態計測  
助成額：250,000円
- ・三橋 修（高知工業高等専門学校）  
研究課題：防災景観としての室戸市全ての津波避難タワー、および室戸市高岡集落  
における石垣・コンクリート塀に関する事例研究  
助成額：250,000円